

ユネスコスクール実践報告書

市川市立行徳小学校

教諭 眞下 諒

1 テーマ

「行徳・海物語～江戸川から海へとつながる 2019～」

2 目標

- 江戸川の生き物を育て、触れ合うことを通して、命や環境の大切さについて理解する。
- 調べてみたいことや知りたいことを見つけ、情報を集めたり、友達や地域の人などと協力したりして、課題解決に必要な力を身に付ける。
- 生き物を育てる経験から自然の素晴らしさに気づき、自然を継続的に守ろうという態度を育てる。

〈育てたい資質・能力・態度〉

- ①批判的に考える力 ②未来像を予測して計画を立てる力
- ③多面的、総合的に考える力 ④コミュニケーションを行う力
- ⑤他者と協力する態度 ⑥つながりを尊重する態度 ⑦進んで参加する態度

3 指導計画

本実践は、総合的な学習の時間を中心として、他教科とも関連を図りながら進めた。

以下は、総合的な学習の時間の学習計画である。

単元活動計画(総時数 70 時間)

第一次 ～江戸川についてもっと知ろう～

(10時間)

- ・3年生の時にわかったことを復習しよう(2)
- ・さらに調べたいことを考え話し合おう(2)
- ・実際に江戸川探索をしよう(6)

第二次 ～行徳水族館を開こう～

(35時間)

- ・見てきた生き物を飼うことはできないだろうか(2)
- ・水族館を開くために必要なことを考えよう(2)
- ・生き物を飼う準備をしよう(10)
- ・生き物についてまとめよう(15)
- ・水族館を開こう(6)

第三次 ～江戸川の生き物を守ろう～

(25時間)

- ・生き物を守るための活動について調べよう(7)
- ・活動計画を立てよう(1)
- ・生き物を守るための活動を体験しよう(11)
- ・生き物と環境を守るための活動をまとめて、広めよう(6)

4 実践一部紹介

第1次「～江戸川についてもっと知ろう～」

・江戸川探索に行こう

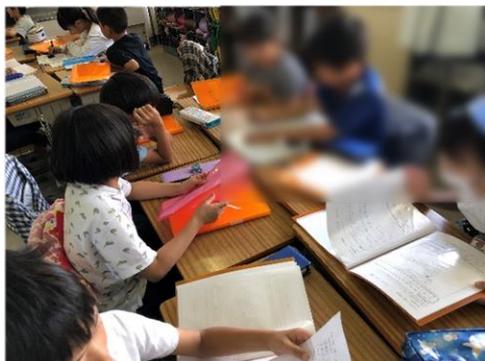
児童は、3年時に江戸川の生き物について学習している。そのため、「江戸川にどんな生き物が生息しているのか」を知っていた。そこで、生き物についてさらに知りたいことを考えさせ、実際に江戸川に生き物を探しに行った。



3年生の時に見られなかった生き物も見つけた！育ててみたいな！

自分たちで生き物を見つけ、捕まえたことで、「飼育してみたい」や「生き物についてさらに詳しく調べたい」という思いを持ち、学習への意欲を高めることができた。

見つけた生き物についてさらに詳しく知るために、図書室へ行き、図鑑や本で調べていった。「どんなところに生息するのか」や「何を食べているのか」、「生き物の特徴」などについて調べ、生き物に対する興味関心を高まっていた。



生き物をもっと知りたいから飼うことはできないかな？

たくさんの生き物がいることや生き物の特徴など、新しい発見をしたことで、実際に飼ってみたいという意欲が高まった。

第2次「～行徳水族館を開こう～」

・飼うために必要なことを考えよう！

飼ってみたいという気持ちから、自分たちの飼育してみたい生き物の捕まえ方や生息場所、餌など必要なことを本やインターネットで調べていった。しかし、専門的な知識が必要なものが多く、なかなか情報を得られなかった。そこで子どもから「詳しい人に教えてもらいたい」という声から、市川市自然博物館の方を講師に招き、ハゼとエビの飼育方法や江戸川の生き物について教えていただいた。



江戸川の生き物は水道水ではなく、人工海水をつくらないといけません。

飼うためにはいろいろな準備が必要なんだ。

飼育方法を教えていただいたあと、ハゼとエビを育てていった。餌やりや水替え、様子を毎日見に行くなど積極的に世話をする児童が多かった。より身近に感じたことで、江戸川の生き物のすばらしさを広めたいという気持ちが出てきた。

・お家の人に知ってもらおう！

ハゼとエビを育てていく中で他の生き物も育てたいという思いを持ち、江戸川に捕まえに行き、カニやヤドカリ、トビハゼ、貝などを飼育した。飼育がうまくいか

ず死んでしまった生き物が多く、「なぜうまくいかなかったのか」や「命の大切さ」について学ぶきっかけとなった。飼育した経験を活かし、学習参観に来る保護者の方々に発表を行った。



身近な江戸川にはこんなにもたくさんさんの素敵な生き物がいます！

第3次「～江戸川の生き物を守ろう～」

・環境を守るために自分ができること

「江戸川探索に行った時にごみがたくさんあった」や「社会の授業で江戸川の水が汚れていると書いてあった」という声が子どもたちからあり、「生き物のためにも江戸川の環境を守りたい」という思いを持った。自分たちの生活の中でできることを調べ、簡単にできるものから学校や家庭で実践した。その体験を生かし、環境を守っていくために、自分たちだけでなく、他クラスや他学年の友達にも知ってもらう活動を行っていく。



自分たちでできることはこれがあるね！簡単なものや協力してできるものに分けよう！

5 成果

- 3年生の学習をもとに発展的な内容で進めたことによって児童の意欲を高め、学習を始めることができた。
- 友達と話し合い、生き物の捕まえ方を考えたり、準備したりしたことで楽しく活動することができた。
- 実際に江戸川にいったことにより、生き物の多さや自然を感じることもできた。また、ごみが多いことや水が汚いことに気づき、環境を守ろうという意欲を高めた。
- 他教科の学習（社会科「くらしと水」や道徳「ふれあいの森」など）の際に江戸川と関連付けて学習を進めることができた。
- 生き物を育てていくために必要なことを自分たちで考え、工夫をすることができた。
- 生き物を育てる大変さを実感したことで、命の尊さや大切さを感じることもできた。
- 環境を守っていく活動を調べたことによって、日ごろから環境を守ろうとする気持ちが芽生え、水を大切に使うことや洗剤を使いすぎないようにすることなど自分の生活に生かすことができた。

6 課題

- 水族館を開こうと意欲を高めて行ってきたが、考えたことを計画したり実行したりすることが難しかった。
- 専門的な知識が必要な場面が多く、実践することが難しい活動が多かった。
- 学校外の人たちとの関わりが少なかったため、専門家などとの関わりを増やしていく必要があった。
- 気温や水温、道具の管理が難しかった。
- 環境を守っていく活動で、目に見える成果を児童が感じることはできなかった。